

2018. MAY

# 広報 JAだてし

本所の桜の木



NO.607

発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel.0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



*Japan Agricultural cooperatives*

主な内容

第45回西胆振 B&W ショウ  
女性部ホビークラブ雑巾寄贈  
園芸市開催  
春まき小麦試験圃設置 その他

5月号



## 第45回西胆振 B&W ショウ

### 最高位賞

未経産の部 クレーン シルキー ドアマン  
伊達市 佐藤 裕 平  
経産の部 ロックヘルス アドベント テイナ  
伊達市 白土 成太郎

### 準最高位賞

未経産の部 クレーン シド ジュリアン  
伊達市 佐藤 裕 平  
経産の部 ノースゴールデン QH ベイビット プラクストン  
伊達市 山口 典孝

- 第1部 ブローカー スノーフレーク チーフ  
黒松内町 二階堂 和敏
- 第2部 クレーン シルキー ドアマン  
伊達市 佐藤 裕 平
- 第3部 シングルハート YANA ソロモン ハーゲン  
黒松内町 山下 竜治
- 第4部 スプレンド TMホーム スカイハート デリ  
黒松内町 居川 孝志
- 第5部 MW ウエツジ リラ シド プリズム ET  
とうや湖町 渡部 将聡
- 第6部 クレーン サミットリー レジナルド ジュリアン  
伊達市 佐藤 裕 平
- 第7部 ノースゴールデン アロー S ランス リング  
伊達市 山口 典孝
- 第8部 ノースゴールデン QH ベイビット プラクストン  
伊達市 山口 典孝
- 第9部 ロックヘルス アドベント テイナ  
伊達市 白土 成太郎



## 今月号のトピックス

第45回西胆振ブラック&ホワイトショウが4月21日(土)伊達市畜産共進会場にて開催されました。  
伊達市をはじめ黒松内町、とうや湖町から合わせて27頭の出品がありました。審査は浦河町の駒沢圭介氏により行われ、未経産経産ともに当JAから出品された牛が最高位を獲得しました。各部門別の結果は左記の通りとなっております。



## 園芸市開催

JA伊達市グリーンセンターにて4月28日(土)から5月6日(日)までの期間、恒例の春の園芸市が開催されました。

トマト、キュウリ、ナスなどの定番から京野菜などの珍しい野菜苗、またパンジーやペチュニア、サルビアなどの花苗やアルストロメリア、アザレアなどの鉢花、果樹類が店頭に並び、期間中は沢山の人が出で賑わっていました。

園芸市の開催はすでに終了



していますが、店頭にはまだ多数の花苗などを取りそろえておりますので、ぜひ足を運んでみてください。

## 女性部ホビークラブ 雑巾寄贈



4月12日(木)、JA伊達市女性部(穴戸恵美子部長)のホビークラブ(中泉恵美子代表)では、農閑期を利用しボランティア活動の一環として部員たちが縫った手作り雑巾360枚を伊達市教育委員会へ寄贈しました。

同女性部による伊達市教育委員会への雑巾の寄贈は記録に残るものだけでも合計で3,000枚に上り、市内の小中学校などに配布されて校内の清掃等に活用されています。

中泉代表は「今年度は雑巾の材料となるタオルを市民の皆様方に提供していただいたこともあり、例年より多くの雑巾を仕上げることが出来ました。

大事に使ってもらい、掃除の大切さを知ってほしい」と話していました。





第2号

各課  
紹介

## 信用部 金融課

- 課長 米川 元隆 (上段中央)
- 係長 大和田洋充 (上段左)
- 係 岡山 泰子 (下段左から3人目)
- // 工藤 麻美 (下段左から1人目)
- // 高野くるみ (下段左から2人目)
- 嘱託 更科 文恵 (下段左から4人目)
- 臨時 佐々木るみ子 (上段右)



### コメント (米川課長)

組合員や地域利用者のニーズに応える金融サービスを提供し、農業及び生活のメインバンク機能の強化を図り、信頼されるJAバンクを目指してまいります。6月～7月にかけてJAバンク統一貯金キャンペーンを実施する予定となっておりますので宜しくお願い致します。

### 広報担当より

地域の経済を担う金融課はお客さまを笑顔で親切、丁寧なサービスでお迎えいたします。今後ともご利用お願い致します!

次号は信用部営農融資課を紹介いたします。

## 新規就農者紹介

氏名: 若松 航洋 (23才)  
出身地: 埼玉県狭山市



### ◎営農内容

施設園芸 ホウレン草、チンゲンサイ、わさび菜など

ビニールハウス5棟(就農地: 東地区弄月町)

滋賀県のタキイ研究農場付属園芸専門学校を卒業後東地区の佐藤英明氏のもとで2年間の研修を終え、この春から独立しました。23歳の若手のホープが新たな地域の担い手として成功することを期待したいと思います。

### ◎本人コメント

佐藤秀明さんや近隣地域の方々のアドバイスを中心に青年部の方々など経験豊富な知識をくみ取り、自身のハウス栽培を中心とした営農に反映させていきたいです。



農と食の  
総合雑誌

# 地上

GOOD EARTH

お申し込みはJAへ

定価(税込み) / 普通月号……590円  
付録付号(5・11月号)……650円

JAの家庭雑誌 お申し込み受付中

あなたの元気がわたしの元気

# 家の光

定価(本誌とも) **980円**



## 春まき小麦試験圃設置

関内地区の矢野雅宏さんはこれまで作付してきた秋まき小麦に代わる春まき小麦の試験を始めました。近年秋まき小麦の品質低下が目立ってきていましたが打開策として春まき小麦の試験を開始し、生育や収量を調査し今後の伊達市の小麦を改善していこうとしています。今後の小麦の品質向上に期待します。



## 水菜の収穫始まる

伊達市では水菜の収穫最盛期となり5月のゴールデンウィークをピークに1日平均600kg前後が出荷され、今後の出荷数量も増加していきます。

年間の収穫量は123トンで

湘南野菜の中でもトップクラスの収量を誇っています。



各課より

## お知らせ



資材課より

### 農業用ビニール・ポリ処理についてのお知らせ

下記日程にて廃プラ（塩ビ・ポリ）回収を行います。異物混入には十分注意願います。また、回収日には混雑が予想されますがご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 場所 伊達市館山町 伊達市農協麦乾施設
2. 日程 6月14日(木) 黄金・稀府・東・中央・室蘭・登別  
6月15日(金) 関内・長和・有珠・室蘭・登別
3. 時間 午前 9:30～11:30  
午後 13:30～15:30 ※時間厳守でお願いします。
4. 注意事項
  - ◎ 必ずフレコンバックにて搬入して下さい。
  - ◎ 硬質塩ビ管、発泡スチロールは受入出来ません。
  - ◎ 塩ビ・ポリの分別をしっかりと行ってください。
  - ◎ 検量時には必ず立会下さい。
  - ◎ 委任状が必要ですので必ず印鑑をご持参ください。

詳細は、グリーンセンター (Tel.0142-23-6115・山本) までお問い合わせください。

農産課より

### 麦乾施設精米業務休日のお知らせ

5月1日(火)～8月末日までの閑散期において、日曜・月曜・及び祝日の精米業務を休止させていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

- ◎問合せ先（農産課） 本 所 TEL 0142-23-2181  
麦乾施設 TEL 0142-23-2458



## 販売事業関係

- 意見① 「生産物の有利販売に期待する。」  
回答① 振興作物を中心に販売強化を図り、加工向け野菜販売拡大を目指していく考えです。
- 意見② 「食の安全・安心への取り組み」  
回答② 生産履歴記帳の啓蒙と定期的な残留農薬検査を実施し、信頼される産地づくりを目指す考えです。

## 購買事業関係

- 意見① 「農業資材の情報及び推進による安価資材の提供を願う。」  
回答① 組合員巡回の強化を図り、農業資材のコスト削減に向けた情報提供・情報共有による取りまとめ利用向上に努めていく考えであります。

## 管理関係

- 意見① 「組合員が安心して営農に望める環境作りを希望。」  
回答① 持続可能な農業経営の発展に取り組み、労働負担の軽減・収益の向上などに繋がるよう努めていく考えです。
- 意見② 「運営規模の縮小・有益事業の更なる見直し、長期減益事業の縮小及び撤退等」  
回答② 組合員並びに取扱高の減少等、事業量の減少が予測されます。今後の農協改革等による体制整備も求められている状況でもありますので、各事業内容を精査した中で適正な事業運営に努めていく考えです。

本年度の営農計画書に、多くの組合員の方々からの貴重なご意見を頂き誠にありがとうございました。皆さま方のご意見等に対する回答を、地区別懇談会に出された意見と重複しないよう数多く寄せられた意見をピックアップ・要約して報告させていただきます。

## 平成30年度営農計画書における

## 農協に対する意見等の報告



## 日本 農業新聞 購読

月～土発行（日曜及び新聞休刊日を除く）

お近くの新聞販売店からお届けします。

月額購読料：2,520円（税込）

10月予定の購読推進期間中のお申込みで1か月無料お届け！

※次月より購読料がかかります。

ぜひ、ご購読をお願いします。

問い合わせ：JA伊達市 営農指導課まで





主な登場人物

八つあん

のんきで大らか、食いしん坊。子どものように純朴でまっすぐな根性の持ち主。熊さんを慕って、いつも後をついて歩いている。



食いしん坊

熊さん



江戸っ子

短気でせっかち、あわてんぼう。だけど気のよいチャキチャキ江戸っ子。大工の見習いで、親方にいつもこき使われている。



ご隠居



重鎮

横町の重鎮。長屋の住人たちのよろず相談役で、熊さん八つあんにとって先生のような存在。「協同組合」について、やけに詳しい。

銀行・保険とどう違う？

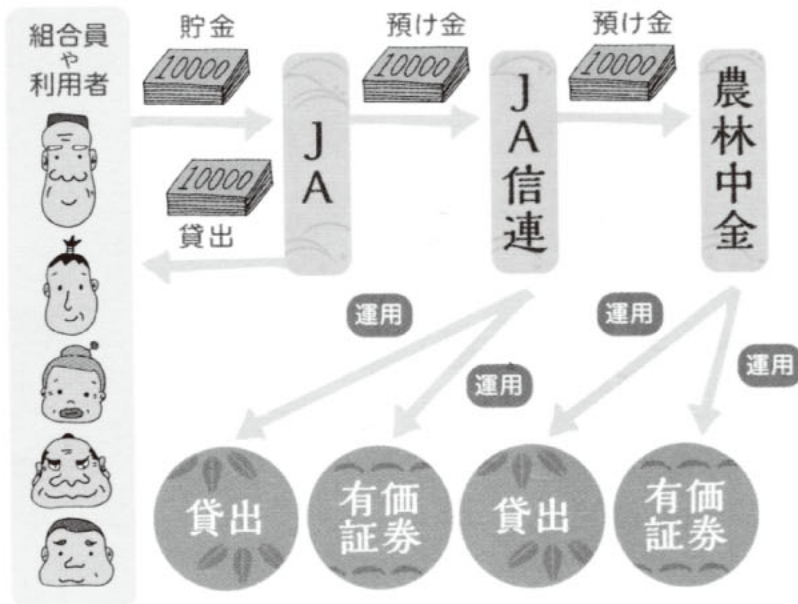
ご隠居：ただいま。  
熊さん：お、ご隠居。  
八つあん：おかせんなさーい！  
ご隠居：おや、来てたのかい。  
お前さんらときたら、まるで自分ち扱いじゃのう。  
熊さん：どこ行ってたんですか？

ご隠居：JAでお金をおろしてきたんじゃよ。  
熊さん：農協ってなあ預金もできるんですか？  
ご隠居：もちろんじゃ。もつとも、「預金」といわず「貯金」というがな。  
八つあん：どう違うの？  
ご隠居：信用事業（キーワード）というんじゃがな、JAは組合員が開設した口座を通じてお金を預かり、それを資金が必要な組合員に貸し出す。そうやって地域の発展のために運用しておるんじゃよ。  
熊さん：それってまるっきり銀行と同じやんしよ？  
ご隠居：たしかに仕事の内容だけ見れば、一般の銀行とさして変わらんように思うかもしれんがな、JAの場合、「信用」という言葉に象徴されるように、人と人との信頼関係によって成り立っておるんじゃよ。  
熊さん：よくわかんねえなあ。  
ご隠居：よいか、銀行が相手にするのは不特定多数の一

▼キーワード  
「信用事業の仕組み」

組合員がJAに開設した口座を通じてお金を預かり、それを資金が必要な組合員に貸し出し、地域発展のために運用する。おもにJAバンク(信

用事業を行っているJA、JA信連、農林中金で構成するグループの名称)が担っている。なお、貯金から貸出を引いて余ったお金を「余裕金」といい、この余裕金の大部分はJA信連が預かり、貸し出しや有価証券で効率的に運用している。



般のお客さんじゃ。ところがJAは、組合員が農産物の販売代金などで得た収入を貯金として受け入れ、そのお金を、組合員の営農改善や生活に必要な資金として貸し付けるんじゃ。

八つあん：おいら貯金してるよ！

ご隠居：えらいぞ八つあん。たとえば銀行が使う「預金」という言葉は、あくまでも銀行が一時的に預かる、という意味じゃろ？

しかしJAでは、生活のために貯えるという意味で「貯金」という言葉を使う。つまり主語は組合員、あくまでも組合員が主役ということじゃ。

熊さん：お、この間の販売・購買と同じ考え方でやんすね。

ご隠居：そうじゃ。ところで八つあん、おやじさんのケガは大事ないかね？

八つあん：うん、でもまだ仕事に行けないからおっかさんが大変。

ご隠居：そうじゃろうなあ。共济には加入しておったのかのう……。

熊さん：なんですそれ？

ご隠居：これもJAが行っている事業でな、JA共济（キーワード2）というんじゃが、組合員が契約に基づいて支払った掛金を、病気やケガ、災害などにあつたときに共济金として支払ってくれるんじゃ。

熊さん：保険と一緒ですね。

ご隠居：うむ。じゃが根本となる考え方が大きく異なるんじゃよ。「共济」とは、共に救い合うという意味じゃ。不特定多数の顧客ではなく、同じ協同組合の間である組合員の暮らしを守るために自ら掛金を支払い、そして組合員が万一の事故や災害にあつたときにそれを活用するんじゃよ。

熊さん：へー。JAがそんなことまでやってるとはねえ。

ご隠居：一見、民間の銀行や保険会社と変わらんように見えるかもしれんが、JA

の信用事業や共济事業は、名が表している通り根この部分でお互いを信じ合いい、救い合うという精神が宿っているのじゃ。

熊さん：なるほどねえ……

ん？どうした八、考えこんじゃつて？

八つあん：うん、こないだね、JAの何とかさんって人が来て、おっかさんと何かしゃべってたなあと思つて。

熊さん：だれただよ。

八つあん：わかんないけどきょーさいがどうの、しはらいがどうの……。

ご隠居：ほほー、それはおそろしくJAさんじゃな。

熊さん：JA？ロサンゼルス……さん？

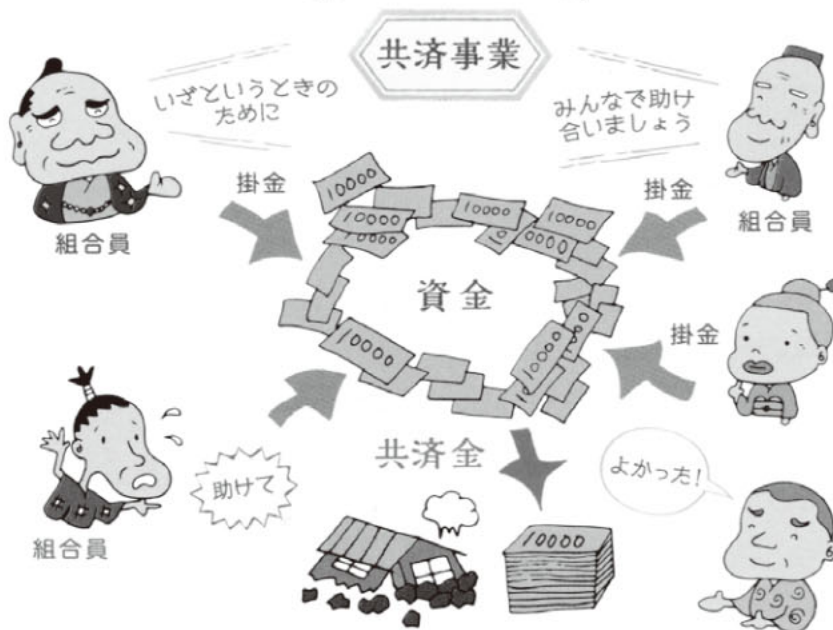
ご隠居：ライフアドバイザー。共济の担当者じゃよ。ということは八つあん、おとうつあんはJA共济に加入しておつたんじゃな。

熊さん：おー、よかつたな、八！

八つあん：うん！

熊さん：うなぎおつてくれ！八つあん……ヤダ。

相互扶助の精神



▼キーワード2  
「共济事業の仕組み」

共济の基本理念は「相互扶助」であり、営利目的ではな

い。もしもの被害が発生したときに、組合員が払った掛金から共济金が支払われ、剰余金が発生した場合には利用者に還元される。







# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し  
ます。JA北海道大会決議事項の実績やその時々のト  
ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えしま  
す。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを  
ご覧ください。

## JA北海道 中央会



JAグループ北海道が組織  
する北海道農協政治連盟が  
次期参議院選全国比例区での  
組織代表候補として、黒田栄  
継氏を全国農政連に推薦しま  
した。

黒田氏は昇室町で畑作経営  
を営んでおり、平成26年度に  
全青協会長  
を務め、組  
織活動でつ  
ちがった判  
断力・行動  
力と全国的  
な知名度が



なお、本  
会からは北  
海道教育委  
員会へ教材  
本の贈呈を  
行い、教材  
活用への協  
力をお願いしました。



北海道教育委員会教育長へ贈呈

## ホクレン



あります。政治課題が山積す  
る中、現役農業者の代表を国  
政に送り、世論形成の核とな  
ることが重要と考えています。

## JA北海道 信連



JAバンクでは、子どもた  
ちが食と農業への理解を深め  
るきっかけとなることを願  
い、平成20年度から、食農教育等  
をテーマとした教材本を製作  
し、JAを通じて道内の小学  
校へ贈呈しています。今年度  
は、全道1,079校の小学校  
および特別支援学校に贈呈し  
ます。

果を今シーズンから残してい  
けるよう精進したい」と抱負  
を語りました。

## JA共済連 北海道

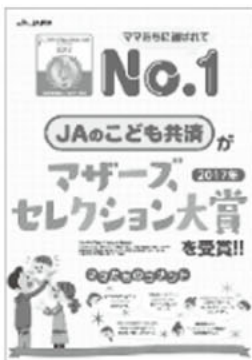


JA共済連では、子ども共  
済の資料請求キャンペーンを  
実施しています。

子ども共済は、お子さま・  
お孫さまの学資金を計画的に  
準備でき、給付率は業界トッ  
プクラスです。また、2017  
年度に「マザーズセレクション  
大賞」を受賞しております。

今年度は、資料請求された  
方先着60,000名様に、ア  
ンパンマンお食事工プロンを  
プレゼントしています。

詳細はホームページを  
ご覧ください。



## JA北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の  
皆様の生命と健康を守るため  
本会事業の積極的な啓蒙推  
進を図ることを目的として、広  
報誌「すまいる」を発行して  
おります。

年3回発行しており、様々  
な医療・健康情報を発信して  
おります。

ホームページにもバックナ  
ンバーを掲載しておりますの  
で、是非一読ください。





## 第70回 通常総代会のご案内

### ◎日 時

平成30年5月22日(火)

※受付…午前9時00分

※開会…午前9時30分

### ◎場 所

JA伊達市本所2階会議室

総代の皆様におかれましては、何かとお忙しい中大変恐縮ではありますが、ご出席をお待ちしております。

また、当日は総代会議案書及び第7次農業振興中期経営計画書をご持参頂けますよう、重ねて宜しくお願い致します。



## 理事会のうごき

### 第16回理事会…平成30年4月17日(火)

- ▶ 監査報告書について
- ▶ 決算関係書類及び部門別損益計算書について
- ▶ 第7次農業振興計画及び中期経営計画の設定について
- ▶ 規約の一部変更について
- ▶ 労働保険事務組合の平成29年度徴収・納付状況の報告について
- ▶ 第70回通常総代会議案について
- ▶ 第70回通常総代会における議決権行使書面の取扱いについて
- ▶ 平成30年度個人情報保護計画について

### 第17回理事会…平成30年4月25日(水)

- ▶ 信用供与の限度額及び貸出利率の限度について
- ▶ 平成30年度伊達市・登別市(縁故債)入札枠の再設定について
- ▶ 決算自己監査結果について
- ▶ 平成30年度余裕金運用について
- ▶ 平成30年度職員の給与昇給(案)及び給与規程の一部改定について
- ▶ 平成31年度新卒採用者初任給(案)について

## 未来を変える。 みんなで変える。

### 国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.11

#### 平成30年度伊達地区国営緊急農地 再編整備事業促進期成会 第1回役員会を開催

4月9日(月)、市民活動センターで促進期成会役員会を開催し、2年に1度改選される役員の選出や平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画及び予算案などについて審議を行い、承認されました。

また、農業者の高齢化や担い手不足といった問題の解決に向け、集落営農の必要性などを検討するための研究部会の設立や整備費にかかる受益者負担を緩和するために、事前に負担金を積み立てる「事業費償還準備積立金」を創設することについても承認されました。「事業費償還準備積立金」の内容については、5月中に長和・関内両地区で開催する地区説明会にてお知らせしますので、受益者の皆さんはぜひご参加ください。



#### ◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業  
促進期成会事務局  
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内  
Tel.0142-23-3331 内 538)